

- 1日 ○自販連、8月の軽自動車を除く国内新車販売台数を発表  
前年比25.5%減の21万6,510台  
○米供給管理協会、8月のISM（製造業）景況指数を発表  
総合指数は50.6ポイントと2か月連続で前月から低下
- 2日 ○財務省、2011年4-6月期の法人企業統計調査を発表  
前年比で売上高11.6%減、経常利益14.6%減、設備投資7.8%減  
○米労働省、8月の雇用統計を発表  
非農業部門の雇用者数は前月比プラスマイナス0万人と増減なし、失業率は9.1%  
○野田佳彦内閣が発足  
○第3次補正予算編成について、9月9日までに財務大臣に対し23年度第3次補正予算に係る要求を提出するよう内閣総理大臣指示を発出  
○円高への対応策について、経済財政政策担当大臣において関係大臣の協力も得て対応策のとりまとめをするよう内閣総理大臣指示を発出
- 7日 ○日本銀行、金融政策決定会合を開催（6日～）  
政策金利を0.0~0.1%前後に据え置くことを決定  
○内閣府、7月の景気動向指数（速報）を発表  
先行指数106.0、一致指数109.0、遅行指数90.0
- 8日 ○ECB（欧州中央銀行）、政策金利を1.50%に据え置くことを決定  
○内閣府、7月の機械受注統計を発表  
民需（除く船舶・電力）は前月比8.2%減  
○東京商工リサーチ、8月の全国企業倒産状況を発表  
倒産件数は1,026件（前年比3.5%減）と4か月連続で前年同月を下回った、負債総額は7,940億4,500万円（前年比320.3%増）で4か月ぶりに前年同月を上回った  
○内閣府、8月の景気ウォッチャー調査を発表  
景気の現状判断DIは前月比5.3ポイント低下の47.3と横ばいを示す50を2か月ぶりに下回った  
○米商務省、7月の貿易・サービス収支を発表  
季調済で448億ドルの赤字、赤字額は3か月ぶりに縮小  
○財務省、7月の国際収支状況（速報）を発表  
経常収支は9,902億円の黒字（前年比7,285億円減（42.4%減）となり黒字幅縮小）
- 9日 ○内閣府、2011年4-6月期のGDP（2次速報）を発表  
季調済前期比は実質0.5%減（年率換算2.1%減）  
○日本銀行、8月のマネーストック速報を発表  
M2は前年比2.7%増、M3は前年比2.2%増
- 12日 ○財務省・内閣府、2011年7-9月期の法人企業景気予測調査を発表  
景況判断BSI（大企業・全産業）の7-9月期現状判断は6.6ポイント、23年度設備投資見込み（全規模・全産業）5.4%増  
○経済産業省、7月の第3次産業活動指数を発表  
季調済前月比で0.1%減  
○日本銀行、8月の企業物価指数を発表  
前年比2.6%増となり、11か月連続のプラス
- 20日 ○政府、9月の月例経済報告で景気の基調判断を「景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、持ち直してきている」とし、景気判断を現状維持
- 20日 ○日本銀行、資金循環統計（速報）（4-6月期）を発表  
23年6月末の家計の金融資産残高は前年比1.2%増（17.7兆円増）の1,490兆8,593億円と5四半期ぶりの前年比プラスとなった  
○「平成24年度予算の概算要求組替え基準について」を閣議決定
- 21日 ○FRB（米連邦準備制度理事会）、FOMC（米連邦公開市場委員会）を開催（20日～）  
政策金利の誘導目標を0.00~0.25%に据え置くことを決定、少なくとも2013年半ばまで維持する方針を継続、保有証券の平均残存期間の長期化を決定、現在保有するエージェンシー債及びエージェンシーMBSの償還元本をエージェンシーMBSに再投資することを表明、経済見通しについて「世界的な金融市場における緊張を含め大きな下向きのリスクがある」とした  
○経済産業省、7月の全産業活動指数を発表  
季調済前月比で0.4%増  
○財務省、8月の貿易統計（速報）を発表  
輸出は船舶、自動車等が増加し前年比2.8%増の5兆3,575億円、輸入は原油、液化天然ガス等が増加し19.2%増の6兆1,328億円、貿易収支は7,753億円の赤字
- 22日 ○20か国財務大臣・中央銀行総裁会議、「下方リスクに対処するため力強く協調のとれた国際的対応にコミットしている」との声明を発表
- 26日 ○米商務省、8月の新築住宅販売件数を発表  
年率29.5万件、前月比2.3%減と4か月連続で減少
- 30日 ○経済産業省、8月の商業販売統計を発表  
小売業販売額は前年比2.6%減と3か月ぶりのマイナス  
○米商務省、2011年4-6月期のGDP（確報）を発表  
実質GDP成長率は季調済前期比年率1.3%増と2次速報値（1.0%増）から上方修正
- 31日 ○総務省、8月の消費者物価指数を発表  
生鮮を除く総合は前年比0.2%増と2か月連続のプラス  
○総務省、8月の家計調査を発表  
実質消費支出は前年比4.1%減と6か月連続のマイナス、名目消費支出は前年比3.9%減  
○総務省、8月の労働力調査を発表  
完全失業率（季調済）は4.3%、雇用者数は5,208万人となり前年比24万人の減少  
○厚生労働省、8月の一般職業紹介状況を発表  
有効求人倍率（季調済）は0.66倍  
○経済産業省、8月の鉱工業指数（速報）を発表  
生産は前月比0.8%増、出荷は前月比0.3%増、在庫は前月比2.1%増  
○国土交通省、8月の建築着工統計を発表  
新設住宅着工戸数は81,986戸となり、前年比14.0%増と5か月連続の増加
- ※東証株価指数（TOPIX）第1部（終値）  
月間最高値 778.28（1日）  
〳 最安値 728.85（26日）  
※東京外為市場（円相場、銀行間直物、対1ドル）  
月間最高値 76円34銭-76円36銭（21日）  
〳 最安値 77円54銭-77円55銭（9日）